

平成 26 年度市町村における使用済製品リユースモデル事業
各モデル事業の進捗状況（中間報告）

1. 平成 26 年度モデル事業の概要

市町村等とリユース事業者や市民団体・NPO 等とが連携し、リユースを促進するためのモデル事業を実施する。平成 26 年度のモデル事業は、都道府県・市町村からの事業内容提案型として募集し、地域の特性、状況や規模等を鑑みて検討した結果、東京都八王子市、神奈川県逗子市、愛知県武豊町の 2 市 1 町で実施する。各地域のプランの概要は以下の通りである。

	東京都八王子市	神奈川県逗子市	愛知県武豊町
事業の名称	リユースショップと連携した「大学リユース市」事業	地域密着型リユース・ライフスタイルの普及促進事業	たけとよりユースステーション
事業の概要	大学を卒業する学生が不要とする家具等を、行政の支援のもと、無償で新入生に提供するイベント「大学リユース市」を、中央大学、リユースショップ、関連自治体（多摩市・日野市）と連携のもと実施する。 また、学生と共同で「リユースショップ紹介冊子」を作成し、大学や市のイベント等で配布する。	市内 3 ヵ所程度で住民間でのリユースを実施するイベント「エコ広場サテライト」を開催。地域通貨「Zen」を活用してリユース品の流通の活性化を図る。 また、市民へのリユース・ライフスタイルの普及のため、パンフレット・パネル等に加え、シンポジウムを開催。 また、リユースに関する情報交換の仕組みとして、Face Book を活用する。	家庭に眠る「自分では使用しないが、使用できるもの」を住民間でリユースする取組。住民から集めたリユース品を会場に展示、参加者が持ち帰るイベント「武豊リユースパーク」を開催する。 平成 22 年より上記イベントを実施しているが、常設のリユース施設の開設を、町内事業者と連携しながら検討する。
リユース対象品目	家具類（収納ケース、机、テーブル、ソファ等）、家電製品、楽器、ゲーム機器、CD・DVD、自転車など	日用品・生活雑貨（食器、台所用品等）、書籍、子ども用品（おもちゃ等）、小型家電など	日用品・生活雑貨（食器、台所用品等）、書籍、子ども用品（おもちゃ等）、衣類・服飾品、CD・DVD など
役割分担	【行政】企画・開催、広報、残余品の処理 多摩市、日野市と連携。 【中央大学】企画・開催、広報・周知（SNS 等活用）、リユース品の提供・譲渡の窓口 【民間事業者】一部リユース品の買取	【行政】企画・開催支援、市民への広報協力 【市民団体】イベント企画・開催、市民への広報資料作成、残った製品の整理	【行政】企画・開催、広報、残余品の管理・処理 【ボランティア団体等】残った製品の有効活用 【民間事業者】常設リユース施設の運営
実施日	大学リユース市は 3 月下旬に開催	エコ広場サテライトは 12～2 月に 3 ヵ所で各 2 回ずつ開催 シンポジウムを 1 月に開催	「武豊リユースパーク」を 10 月 26 日（日）に開催、常設リユースステーションは 12 月中開店を目指す

2. モデル事業の実施状況（中間報告）

2.1 東京都八王子市

(1) 実施するリユースモデル事業の概要

1) プランの概要

大学を卒業する学生が不要となった家具等を、行政の支援のもと、無償で新入生に提供するイベント「大学リユース市」を、中央大学、リユースショップ、関連自治体（多摩市・日野市）と連携のもと実施する。中央大学 FLP 環境プログラム・佐々木創ゼミの学生が主体となり、中央大学の卒業生に向けてリユース品の提供を呼びかけるとともに、家具等の大型のリユース品については、八王子市が回収を行う。回収したリユース品は、3月26日から4月6日にかけて、イベント「大学リユース市」にて新入生への提供を実施する。また、リユース品の一部をリユースショップに売却し、最終的に余ったリユース品については、八王子市が処理を行う。

また、学生と共同で八王子市周辺のリユースショップを紹介し、市民にリユースショップの利用を促す「リユースショップ紹介冊子」を作成し、大学や市のイベント等で配布する。

① 対象品目

卒業生から提供いただくリユース品は、衣類、書籍、ゲーム、CD・DVD、収納ケース、カラーボックス、扇風機、テレビ台、机、テーブル、椅子、ソファ、スタンドミラー、棚、楽器（ギター・ベース）、小型家電などとしている。扇風機、小型家電に関しては、製造年が5年以内のものとする。引取にあたっては、学生が「回収物品点検表」をもとにチェックをして引取の可否を判断する。余ったリユース品については、八王子市が廃棄物として処理を行う。

回収物品点検表	
この商品は、平成____年____月____日に、_____が点検いたしました。	
☐ 製造事業者などによる自主回収品又は法律に基づく回収命令品でないか(リコール品ではないか)。	
☐ 外観検査を行ったか。 ● 変形（著しいキズ、破損等）がないか。 ● 汚れがひどくないか。	
☐ 正常動作検査を行ったか。 ● 本来の正しい使い方通り、使用することができるか。	
☐ 通電検査を行ったか。（電化製品のみ記入） ● 定格電圧をかけることで、当該製品が正常に動作するか。	
☐ 表面のほこり、汚れをとるなどの適切な清掃をしたか。	
☐ 電気用品に関して、PSEマークがついているか。 (PSE)	
☐ 何年前に購入したか。____年 ● 製造年から5年以内であるか。	
☐ 新品であるか、リユース品であるか。(新品 ・ リユース品)	
☐ 取り扱い説明書は添付されているか。	有・無
☐ 保証書は添付されているか。	有・無
☐ 全ての付属品を添付しているか。	有・無
☐ 不足品あり（不足品：_____）	
中央大学 FLP 環境プログラム 佐々木創ゼミ 平成 25 年 11 月 13 日作成	

② 取組の概要

「大学リユース市」開催に向けた事前準備等を含めたスケジュールは下記の通りである。

中央大学の卒業生向けの広報を行った後に、リユース品の収集を行う。2月23日現在で3回の回収を行っており、54点のリユース品が集まっている。3月22日までの間に、あと7回のリユース品の回収を予定している。3月26日～4月6日にて、リユース市を実施し、収集したリユース品を新生入生に無償で引渡を行う予定である。

また、3月23日又は24日に、収集したリユース品の査定をリユース事業者が実施する予定である。査定結果とリユース市での引取り状況を分析し、「売れるもの(リユースショップのニーズがあるもの)」はリユースショップを活用し、「売れないが使えるもの」はリユース市のようなリユースイベントを活用するということにより、様々な形でリユースの循環を検討するための取り組みである。

リユース市の実施後は、残ったリユース品の処理を行うとともに、効果測定、来場者アンケートの集計等を行う予定である。

「大学リユース市」開催に向けたスケジュール

日時	取組内容
事前準備	・広報活動（学園祭での出展、ちらしのポスティング、ウェブページ、ツイッターでの発信など） ・関係者との調整などの事前準備 ・リユース品の収集の実施（1月から3月までの間に合計10回の回収、持ち込み品も受付）
3月23日（月）又は 3月24日（火）	・リユース事業者による回収品の査定 （次年度以降の持続的な取り組みに向けてのデータ収集）
3月26日（木） ～4月6日（月） 大学リユース市開催	・大学リユース市の実施 （参加者にはアンケート調査を実施予定）
効果測定・成果取り まとめ	・残ったリユース品の処理 ・効果測定、来場者アンケートの集計等

また、同時に「リユースショップ紹介冊子」の作成を行った。リユースショップ紹介冊子は、日本リユース業協会に紹介して頂いた会員企業24店舗を掲載した。（参考資料として配布）

あわせて、地域のリユースショップ紹介のために別紙として「八王子市リユースショップ店舗一覧表」も作成した。（「八王子市エコショップ認定店¹」から6店舗を掲載している。）

リユースショップ紹介冊子は、啓発イベント等で配布し活用することを予定している。

（2月7日に行った「消費生活フェスティバル」で約160部を配布し、アンケート調査も実施した。）

¹ <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/gomi/5797/5965/index.html>

③ 役割分担

八王子市及び中央大学は「大学リユース市」の主催者として、開催に向けた企画・準備・広報・リユース品の回収・当日運営・効果測定等を分担して実施する。また、八王子市は学生からの意見を取り入れながら、「リユースショップ紹介冊子」を作成した。

2) 広報・PRの方法

10月31日、11月2日の第48回中央大学白門祭にて、「大学リユース市」を宣伝するためのブースを出展し、「大学リユース市」を告知するちらしの配布や昨年の取組の紹介を行った。

また、中央大学の学生限定のアパートである「C's」のうち、八王子市内、日野市内、多摩市内の物件に12月中旬～下旬、1月下旬～2月上旬にポスティングを行った。

加えて、ウェブページやツイッターでの情報発信も継続的に行っている。

(2) モデル事業の利用状況・効果について（中間報告）

※詳細については、第17回研究会において八王子市より紹介いただく予定。

1) 今後の予定

- ・卒業生からリユース品の回収（7回）
- ・リユース事業者による回収品の査定
- ・大学リユース市の実施
- ・来場者アンケートの結果整理
- ・「大学リユース市」の改善点、次年度以降の計画の検討 / など



環境省

不要になった家具、新入生に譲りませんか？

完全無料

で引き取ります！

環境省モデル事業
八王子市とタイアップしています！

リユース市とは？

「卒業生の不用品を新入生の必需品に」を合言葉に、1人暮らしをしている中大学生が、まだ使えるけれど不要になった生活用品を中大学生に引き渡すイベントです。

昨年はFLP環境プログラム佐々木ゼミが八王子市と連携し、3月下旬～4月上旬に開催し、42品目を引き渡しました。今年度は環境省モデル事業に採択され、さらに規模を拡大して実施します。

2月18日(水)・28日(土)
3月3日(火)・6日(金)・9日(月)・15日(日)・18日(水)・22日(日)

に回収予定です。ご自宅まで引き取りに伺います。

対象地域：八王子市・日野市・多摩市内のC's、
八王子市内の東中野・堀之内・大塚地域。

取り扱い物品：棚、机・テーブル、テレビ台、収納ケース、CD・DVD、ゲーム、カラーボックス、楽器、スタンドミラー、イス・ソファ、衣類、小型家電（調理・暖房器具を除く）

※場合によっては扱えない物品がありますので、下記の連絡先に相談してください。

《連絡先》
QRコードでCHECK!→

詳細は「中央大学 リユース市」で検索
<http://reuseproject-chuo.jimdo.com/>
Twitterアカウント：
中央大学リユース市@chuo_reuse1
☆随時更新中！
ご気軽にフォローしてください☆
Mail： chuo_reuse1@yahoo.co.jp



学生ボランティア募集!!
詳しくは、左記メールアドレス又はTwitterにご相談ください！



主催：中央大学(実施主体：FLP環境プログラム佐々木ゼミ)、八王子市
協力：環境省

リユース市とは？

昨年度からFLPの佐々木ゼミで開催をはじめ、今年は環境省のモデル事業に採択されました。八王子市、日野市、多摩市で一人暮らしをしている中大学生がまだ使えるにもかかわらず不要になった生活用品を新入生と在校生に受け渡すイベントです。今年は、3月の下旬から、4月上旬にかけて開催予定です。



中央大学
CHUO UNIVERSITY



八王子市



環境省

不要になった生活用品 私たちが引き取ります

物品が持ち込み可能に

前回は、3月に物品をご自宅まで引き取りに伺っていましたが、それに加え物品の持ち込みの受付を行います。

日時：12月と1月の登校日
毎週月曜日と木曜日の昼休み

場所：6号館7号館間のベデ下(学生課、厚生課上の屋内)
衣類や書籍など手軽に持ち運びできるものを提供したいと考えての方は、ぜひお気軽にお越しください！



←昨年度の様子

回収予定日

回収希望の方のご自宅まで引き取りに伺います。ご希望の方は、下記のホームページにアクセスしてください。

回収予定日：1月9日 16時から
2月 1月上旬 1回 下旬 2回 3月 複数回

主な対象地域：八王子市・日野市・多摩市内のC's、
八王子市内の東中野・堀之内・大塚地域

*2月・3月の時間は未定です
またその他の日にち、地域はゼミ生にお尋ねください

取扱い物品

衣類、書籍、小型家電（調理器具、暖房器具を除く）、棚、机、収納ケース、カラーボックス、スタンドミラー、椅子など
*場合によっては扱えない物品がありますので、ゼミ生にご相談ください

詳しくは 「中央大学 リユース市」で検索
<http://reuseproject-chuo.jimdo.com/>
Twitter： 中央大学リユース市 @chuo_reuse1
Mail： chuo_reuse1@yahoo.co.jp
八王子市連絡先：八王子市 資源循環部 ごみ総合相談センター
TEL： 042-696-5353 (直通)

QRコードでCHECK!→



主催：中央大学(実施主体：FLP環境プログラム佐々木ゼミ)・八王子市 協力：環境省



＜学園祭での様子＞



＜回収したリユース品の一例＞



＜回収したリユース品の一例＞



＜回収したリユース品の一例＞



＜回収したリユース品の一例＞

2.2 神奈川県逗子市

(1) 実施するリユースモデル事業の概要

1) プランの概要

市役所に常設された不用品交換スペース「エコ広場」をモデルとして、市内3地域において出張「エコ広場」をイベント的に開設し、常設または定期的な開催の可能性を検討する。

また、リユースシンポジウム「捨てる！技術、自分らしい生き方」の開催、市内のリユースショップ等を紹介したパンフレットを作成・配布し、市民に対するリユースの普及啓発を行う。

① 対象品目

図表 1 は出張エコ広場の対象品と除外品である。

図表 1 出張エコ広場の対象品と除外品

分類	対象品
対象品	陶器・ガラス器、台所道具、日用雑貨、人形・おもちゃ、洋服・靴（洗濯済の新しいもの）、服飾品・バッグ、小型家電（30cm くらいまで）、書籍・絵本、CD・DVD
除外品	スキー・ゴルフ用品、家具、大型家電、食品 カビ・汚れ・壊れのあるもの

② 取組の概要

出張エコ広場は、12月12日、13日に市の体験学習施設「スマイル」、1月23日、24日に西友逗子ハイランド店前、2月20日、21日に久木会館の市内3地域において実施する。

各会場で不用品の持ち込みと持ち帰りによる無料交換を2日間実施し、持ち込みをした参加者に対しては逗子の地域通貨「Zen（ぜん）」と交換できるエコポイント1ポイントを発行する。（10ポイントで1Zen（100円相当）と交換可能）展示する不用品は当日受付のほか、市役所のエコ広場へ提供された不用品の一部を展示する。

イベント当日の持ち込み量及び持ち帰り量は、会場内に設置した受付で品目ごとに計量し、ごみの削減量を計測する。また、対象者にアンケートへの協力を依頼して、イベントに対する感想や今後の利用について把握する。

また、イベント後に余った不用品については、市役所のエコ広場に持ち帰り、展示を行う。

③ 役割分担

逗子市役所はイベント全体の進捗・実行管理を行い、市民団体である「逗子ゼロ・ウェイストの会」がちらしの作成、当日の運営作業を行う。

2) 広報・PRの方法

「広報ずし」での案内のほか、地域ごとにちらしを作成し、会場周辺の地域で戸別ポスティングを実施する。

(2) モデル事業の利用状況・効果について（中間報告）

※詳細については、第 17 回研究会において逗子市より紹介いただく予定。

1) 出張エコ広場の開催

第 1 回、第 2 回の来場者数、持ち込み及び持ち帰りの件数・重量の実績を以下に記す。第 1 回、第 2 回ともに子育て支援施設やスーパーマーケットに隣接する場所で開催したため、立ち寄る参加者が多く、来場者数が多くなっている。

図表 2 出張エコ広場の利用状況実績

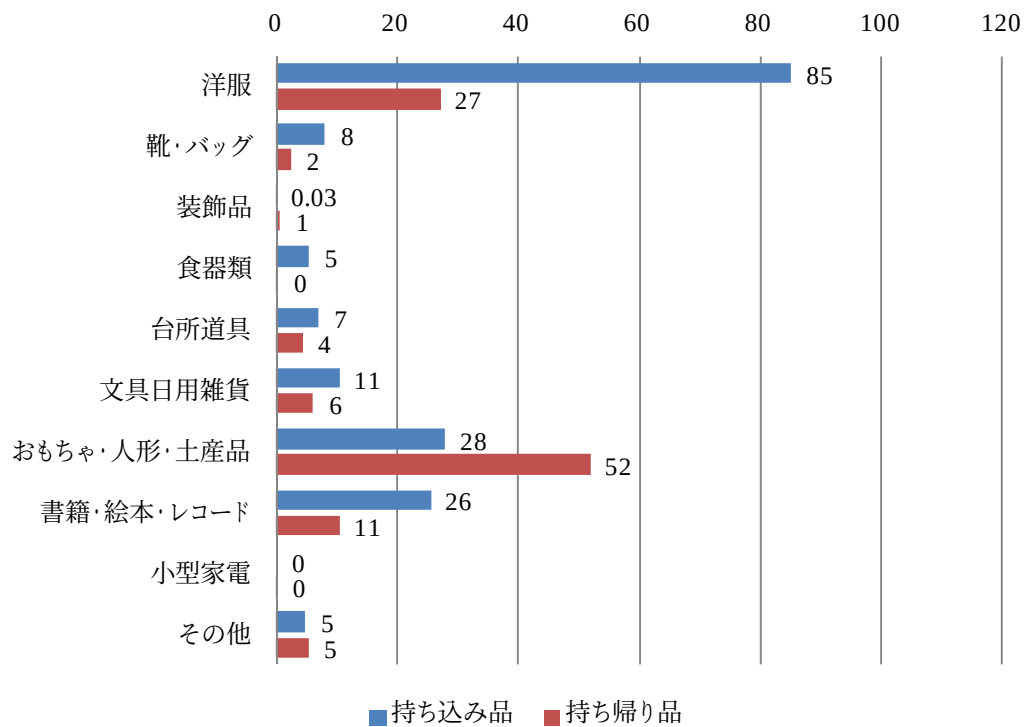
	来場者数	持ち込み		持ち帰り	
		件数	重量(kg)	件数	重量(kg)
第 1 回	437	83	175	189	108
第 2 回	593	144	364	111	155

図表 3 第 1 回出張エコ広場の様子



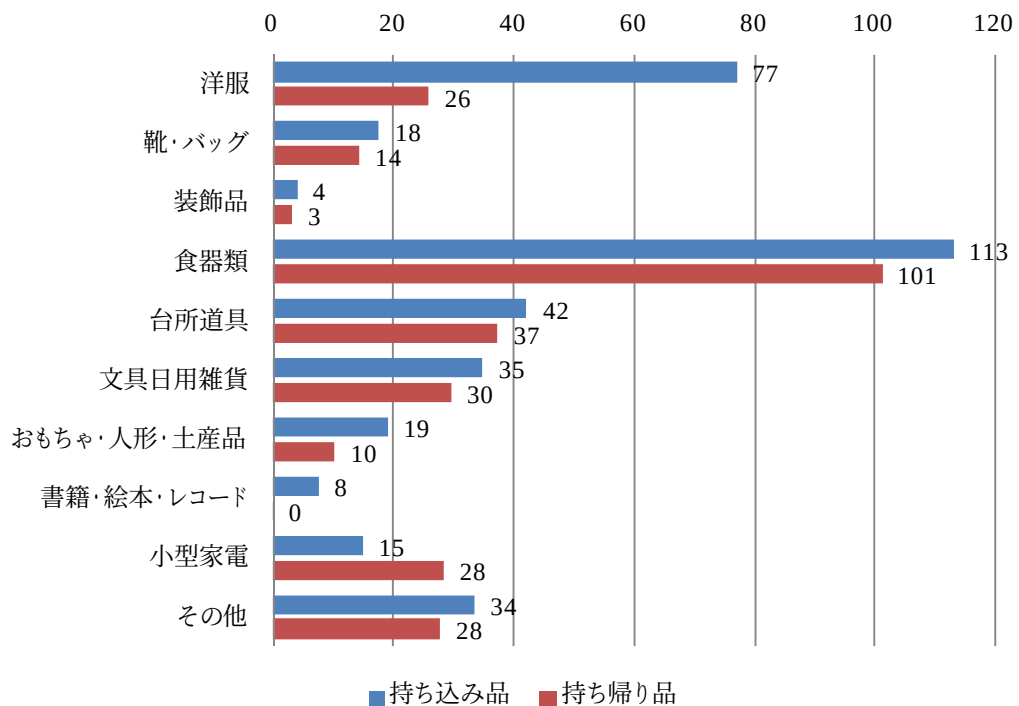
図表 4 及び図表 5 は、出張エコ広場の第 1 回、第 2 回の持ち込み・持ち帰り量の実績である。第 1 回は子連れの参加者が多かったため、洋服、おもちゃ・人形等の持ち込み、持ち帰り量が多かった。第 2 回は、スーパーマーケットに隣接していたため、主婦層の参加が多く、洋服、食器、台所道具、日用雑貨の持ち込み、持ち帰り量が多かった。出張エコ広場の開催場所によって参加者の属性に違いがあり、持ち込み・持ち帰りされる不用品の種類にも違いが表れた結果となった。

図表 4 出張エコ広場第1回の持ち込み・持ち帰りの量(kg)



*「おもちゃ・人形・土産品」の持ち帰り量が持ち込み量を大きく上回っている理由は、第1回会場では子連れの参加者が予想されたことから市役所のエコ広場から子ども向けのおもちゃを持ち込んで展示したためである。

図表 5 出張エコ広場第2回の持ち込み・持ち帰りの量(kg)



2) リユースシンポジウムの開催

1月18日(日)に逗子市文化プラザさざなみホールでリユースシンポジウム「捨てる!技術、自分らしい生き方」を開催し、約130名が参加した。

第1部ではモデル事業の取組みを紹介した後、第2部では辰巳渚氏から「スッキリ暮らす! 素敵な生き方」と題し、大量消費社会におけるものとの上手な付き合い方とリユースを取り入れるコツについての講演があった。第3部では、会場を交えた意見交換が行われ、「逗子のリユースショップについて知ることができた」「今後エコ広場を使ってみたい」等の意見が述べられた。

図表 6 逗子リユースシンポジウムのプログラム

	内容
第1部	モデル事業報告「いいね!リユース 逗子のまちから」 ・リユースマップ作成のインタビューから見てきたこと 進藤和子(リユースマップ編集チーム) ・ママはリユース上手 村上朝鼓(はっぱの広場) ・エコ広場ずしから「地域」エコ広場へ 松本真知子(逗子ゼロ・ウェイストの会)
第2部	講演「スッキリ暮らす! 素敵な生き方」 講師: 辰巳渚 氏(生活哲學家 家事塾主宰 「『捨てる!』技術」著者)
第3部	意見交換「いいね!リユース 逗子から始めよう新しい風」

図表 7 シンポジウムの様子



会場内の様子(左)、第3部の意見交換(右)

3) リユースパンフレットの作成

市内のリユースショップを紹介するパンフレット「リユース生活のススメ」を作成し、28,000部を印刷して市内全戸にポスティングを行い、市内の商店、リユースショップ及び公共施設などに配架した。

形を変えずにそのまま再利用するのが「リユース」。yeah、あなたも「リユース」生活をしましょう！

リユース



エコ広場ずし

2015年10月より燃やすごみ・不燃ごみが有料になります。ご家庭で不要なものを、必要な人に使ってもらうエコ広場『もったいない市』をご利用ください。

出張

エコ広場 @SEIYU

1/23 金 1/24 土

10:00-16:00

西友逗子ハイランド店前



市役所内で好評のエコ広場
『もったいない市』が
ハイランドに来ます！

エコ広場『もったいない市』は、逗子市のゴミ問題解決のため、特に最終処分場の延命のために始まったリユースの取り組みです。今年3月までの1年間で、市役所開設コーナーと出張合わせて延べ4万人以上が来場し、42トンの不用品がリユース・リサイクルとして活用されました。



環境省リユースモデル事業

主催：逗子市（資源循環課 046-873-1111）
逗子ゼロ・ウェイストの会（松本 090-6488-0708）

エコ広場 もったいない市

使えるものを捨てないで、必要な人のもとへ

ご家庭の『まだ使えるもの』をお持ちいただき、欲しい人が『無料で自由に』持ち帰る市です。

受付可能なもの

 陶器・ガラス器	 鍋など台所道具	 日用雑貨	 土産・人形・おもちゃ
 洋服・靴 洗剤、洗濯洗剤のついたもの	 服飾品・バッグ	 小型家電 RECYCLO 2011-2014	 書籍・絵本

受付不可能なもの

 スキー・ゴルフ用品	 家具
 大型家電	 食品

持ってきていただくものは、**自分で使えるようなもの。かび、汚れ、壊れのないもの。**

ポイントがつきます！
持ってきていただいた方にはエコポイントを差し上げます。10エコポイントで1Zenと交換できます。エコポイントカードは共通です。

資源回収コーナーもあります。
割れた陶器、ガラス器、使えない家庭金属、割り箸、アルミ付き牛乳パックを回収します。お持ちください！

逗子市役所1階市民ホールに開設（平日10:00～16:00、市役所開庁時）している他、出張もしています。

ひな人形・五月人形 リユースフェア

1/28(水)～1/30(金) 10:00～16:00



ひな人形、五月人形を必要の方に譲ります。期間中に持ち込み願っています。

持参できない方は、写真可。

会場：逗子市役所一階ロビー

申し込み・お問い合わせ：
逗子ゼロ・ウェイストの会（松本 090-6488-0708）

いいね！リユースシンポジウム

2015年1月18日（日）9:30～11:30

『スッカリ暮らす！素敵な生き方』

辰巳渚さん 講演会

家事塾 主宰、2000年刊行した『捨てるリ技術』で消費社会の象徴である『物』に対する新しい哲学を提唱し、同書は130万部のベストセラーになる。

会場：逗子文化プラザさざなみホール

*詳細は広報ずし1月号と一緒に折り込まれるチラシをご覧ください。



いいね! リユース シンポジウム

「捨てる!」技術、自分らしい生き方

1/18

日曜日
9:30-11:30
開場 9:15

会場: 逗子文化プラザさざなみホール
参加無料 定員: 先着100名

*お申し込み不要 直接会場にお出でください。
*手記送付・資料送付希望者は1月18日までに資源循環課へ申し込んでください。

「捨てればゴミ、分別すれば資源」とはよく言われることですね。
ではリユース(再使用)とは何でしょう。いろいろな方法を語り合い「自分らしい生き方」に活かしませんか。



辰巳 渚さん (生活哲学者)
家事塾主宰。2000年刊行した「捨てる! 技術」(宝島社新書)で消費社会の象徴である「物」に対する新しい哲学を提唱し、同書は130万部のベストセラーになる。

Part 1 報告

「いいね! リユース 逗子のまちから」

- ①インタビューから見てきたこと
池田和子(リユースマップ編集チーム)
- ②ママはリユース上手
桑原奈恵(ロコママネットワークス)
- ③エコ広場ずしから「地域」エコ広場へ
松本真知子(逗子ゼロ・ウェイストの会代表)

Part 2 辰巳渚さん講演

「スッカリ暮らす! 素敵な生き方」



環境省リユースモデル事業

主催: 逗子市
(資源循環課 046-873-1111)
逗子ゼロ・ウェイストの会
(松本 090-6488-0708)

WASTE エコ広場ずし **検索**

Part 3 意見交換

「いいね! リユース 逗子から始めよう新しい風」

***市内リユース業者等のブース・PRもあります。**

リユース

いいね!

エコ広場「もったいない市」

使えるものを捨てないで、必要な人のもとへ

「もったいない市」はご家庭の「まだ使えるもの」をお持ちいただき、欲しい人が「無料で自由に」持ち帰る市です。

エコ広場「もったいない市」は、逗子市のゴミ問題解決のため、特に最終処分場の延命のために始まったリユースの取り組みです。2014年3月までの1年間で、市役所開設コーナーと出張版と合わせて延べ4万人以上が来場し、42トンの不用品がリユース・リサイクルとして活用されました。



久木会館
2/20(金)・2/21(土)
10:00~16:00

SEIYU
逗子ハイランド店前
1/23(金)・1/24(土)
10:00~16:00

スマイル
池子第一運動公園内
12/12(金)・12/13(土)
10:00~16:00

エコ広場
逗子市役所
1F 市民ホール
平日10:00~16:00・市役所開庁時

小坪公民館
1/30(金)・1/31(土)
10:00~16:00
原簿・最終金曜・土曜

沼間公民館
1/9(金)・1/10(土)
10:00~16:00
原簿・第1金曜・土曜

ひな人形・五月人形 リユースフェア

1/28(水)~1/30(金) 10:00~16:00

ひな人形・五月人形を必要な方に譲ります。期間中に持ち込み飾っていただきます。

持参できない方は、写真展示も可能。引き取り手がなかった場合はお持ち帰り頂きます。

会場: 逗子市役所1階市民ホール
申し込み・お問い合わせ:
逗子ゼロ・ウェイストの会(松本 090-6488-0708)

「もったいない市」ご利用の際のルール

受付可能なもの	受付不可能なもの
陶器・ガラス類	スキー・ゴルフ用品
台所道具	家具
日用雑貨	人形・おもちゃ
洋服・靴	CD・DVD
自転車・バイク	大型家電
家電・カメラ	食品

2月から則是新品同様のみ、市役所1F市民ホールでは衣類は新品同様のもののみ展示し、それ以外のものは、適切にリユース・リサイクルします。子ども服は使用したものでも展示。

◎持ってきていただくものは、自分で使えるようなもの、かび、汚れ、壊れないもの。
◎ポイントがつきます! 持ってきていただいた方にはエコポイントを差し上げます。
10エコポイントで1Zenと交換できます。エコポイントカードは共通です。
◎資源回収コーナーもあります。割れた陶器、ガラス類、使えない家庭食器、割リ箸、アルミ付き牛乳パックを回収します。お持ちください!

逗子市リユースパンフレット（表紙（左）、裏面（右））

形を変えずにそのまま再利用するのが「リユース」。あなたも「リユース」生活をしましょう！

環境省リユースモデル事業

リユース生活のススメ

リユース

エコ広場ずし

いいね！

リユースで素敵な暮らしを

REUSE PEOPLE

個性が光るリユースびと

市役所1階にあるエコ広場。ここで見つけた洋服を素敵にコーディネートしているひとがいます。そんな、お二人のファッションをご紹介します。

吉永祥子さん
昔を着るのは寂しかったという吉永さん。ここに出される洋服だと、今まで着たことのない色やデザインを試してみることができるので、楽しんでエコ広場を利用しているそうです。とても上品にまとめていてお似合いです。

浅田恵理子さん
洋服だけでなく、靴も靴もすべてエコ広場でみつけたもの。民族衣装的なコーディネートはお見事。誰かが使わなくなった品物を、再び使うことで命が生き返ると考えて、自分のラッキーカラーも取り入れ活用している。

REUSE INTERIOR

リユース品をセンス良く飾る

(左) ガラスのコップ2セットとアイスベル、アイストングとシェーカーを棚に置いてあります。エコ広場をマメにチェックして、別々に手に入れたもので、手持ちのグラスでは足りなくなるホームパーティーの時に重宝しています。

(中) フルーツ柄のファイヤークロップは実家で眠っていた40年ほど前のもの。

(右) ペンダント照明は家の新築で財政が困難になった時にエコ広場で見つけて、窮乏づくりに一役買ったというリユースです。(Y・Aさん談)

REUSE PUBLIC SPACE

エコ広場ずし

ゼロ・ウェイストを目指した市民協働事業。捨てるのがもったいないと思ったモノを持ってきていただき棚に並べる。欲しいものがあったら自由に持って帰れる。

ただし2月から、靴の受付は新品同様のものみに変更します。衣類も新様のもののみです。子ども服は使用した物も展示します。

品間様のものだけ展示。それ以外のものは適切にリユース・リサイクルします。子ども服は使用した物も展示します。

出張エコ広場もあるよ！

逗子市役所1F ● 10:00～16:00 ● 市役所開庁日
あり ☎ 046-873-1111 (資源循環課)
090-6488-0708 (逗子ゼロ・ウェイストの会 松本)

逗子文化プラザギャラリー (開館年2015年6月28日～12月20日)
● 10:00～15:00 ● あり ☎ 046-871-7708 (図書館・逗子市)

発行：逗子市(資源循環課 046-873-1111)
逗子ゼロ・ウェイストの会(松本 090-6488-0708)
編集：進藤和子・斉藤祐子 デザイン：Rootstock 発行日：2015.1.18
エコ広場ずし 環境省リユースモデル事業

REUSE CLOTHES

リユースの優等生 古着のゆくえ

ファイバーリサイクルネットワーク「ぼろの会」

毎年、春と秋に不要になった古着を集め、回収業者に渡す橋渡しの役目をして20年余りになります。逗子の拠点は5か所。それぞれがボランティアスタッフが活動しているが、不要の衣類を持ってくるともボランティアという考え。燃やすゴミを減らしその分税金を使わずに済むという

視点が原点となっている。次回開催は5月の予定。
問い合わせ：045-710-6507

「ナカノ株式会社」奈野工場を訪ねて

繊維リサイクル業者 ナカノ。奈野工場に自治体等から集まる古着は一日に約10トン！

破れたもの、汚れたものは20%がウエス(工業用清掃布)に、30%が防音材や断熱材に工場で再生され、最終的に焼却に回すのはほんの数パーセント。

奈野工場での分別割合

リサイクル	リユース(中古衣料)
約50%	約50%
防音・断熱材など30%	
ウエス(工業用清掃布)20%	

繊維はリサイクル率の高い資源ということを知っていましたが？ファイバーリサイクルは焼却しないことでエネルギー節約につながり、資源の保全やゴミの減量化に役立つ。古紙や空き缶は高い回収率だが、古着回収率は約一割、残りは燃やすゴミとして焼却されていることになる。古着は宝！燃やすゴミとしてしまわずに、リユースショップなどに持って行くと、古着回収に出して有効に利用しよう。

REUSE BOOK

古本リサイクル市

当日などに持ち込まれた不用品や図書館の廃棄図書などを展示。必要な本があれば自由に持ち帰ることができる。残った本は、「もの」で寄付するプロジェクト「シャイン・リサイクル」に寄付。

● 逗子文化プラザギャラリー (開館年2015年6月28日～12月20日)
● 10:00～15:00 ● あり ☎ 046-871-7708 (図書館・逗子市)

発行：逗子市(資源循環課 046-873-1111)
逗子ゼロ・ウェイストの会(松本 090-6488-0708)
編集：進藤和子・斉藤祐子 デザイン：Rootstock 発行日：2015.1.18
エコ広場ずし 環境省リユースモデル事業

1 スーパーサイクルショップ ワットマン逗子久木店

●逗子市久木 4-13-25 ☎046-884-9966
●10:00~21:00 年中無休 あり

●扱い品: 家電・衣類・貴金属・バッグ・靴・インテリア用品・アウトドア用品・スポーツ用品・ギフト・雑貨など●買い取り・販売 (中大型家具、危険物は除く)●買い取りは持ち込みのみ
●運送用は軽ワンボックス車あり

使われていなかった商品や贈答品などが豊富に陳列販売されており、状態のよい中古品が安価で手に入る。必要のない品物を持っていけば、その場で査定して買い取りしてもらえる。持ち込んだものは基本的にすべて引取ってくれるので持ち帰ることはなく長年愛用したものも持ち込みやすい。(家電リサイクル法対象品を処分する場合は税法に則った料金を必要)。

婦人服は、毎週プライスダウン。さらに新品の家電や靴、バッグなどもあって、来店すると長時間見て回る人が多い。

逗子のびとは楽しいと聞いていたが、ここで来てみると、人懐っこい方が多く、それを覚悟しています。でも、お客さんの笑顔が、それを打ち消してしまいます。大切な思い出を、ここで思い出していただく。店主・藤田真由美さん

2 ブックオフ 逗子久木店

●逗子市久木 4-13-25 ☎046-874-0400
●10:00~21:00 年中無休 あり

●扱い品: 本・ゲーム・DVD・CD ●買い取り・販売
●値がつかない本などの処分●持ち込み用軽ワンボックス車あり

単行本、文庫本、雑誌、コミック、ゲームソフト、CD・DVDが見やすく並べられている店内。書籍の在庫は約8万冊、ゲームソフト・CD・DVDは約2万冊と在庫は豊富。価格も手ごろで、ある期間中に並んでいるものはプライスダウンしている。持ち込み書籍もわかりやすい価格で買い取っているため、資源循環のためにも利用しやすい。

本・ゲーム・CD・DVDをトコトン買い取りします。1点からでもOKです。持ち込み品をお返しすることはありません。即日店頭までお返しください。店主・藤田真由美さん

NPO 法人りさいくる店すし

●逗子市逗子 4-11-39 ☎046-873-5929
●10:30~13:30 土日祝祭日 あり

●扱い品: 衣類・食器・アクセサリー ●販売
5年を迎えるリユース・リサイクル店。赤いのれんが目印。店主手作りリメイク品もある。

活用しよう逗子のリユースショップ!

REUSE SHOP GUIDE

捨てられない、1回使っただけなど、どの家にも眠っている「しまいいばなしの洋服、食器、家電……」
探しているけど「手に入らないもの、欲しいもの」をみつめて、おしといけと使わないものを処分する。
こんな品物の有効利用できるリユースショップが逗子にはたくさんあります。
気軽に利用できるもので、のぞいてみてください。

3 リサイクルショップ カモミール

●逗子市逗子 4-3-5 ☎046-872-4551
●10:00~17:00 土日祝祭日 あり

●扱い品: 衣類・食器・靴・雑貨など
●販売●出張買い取り可

寄付された程度のよい品物を販売。中古品のショップとは思えないほど選んだものが並べられている。売れ残った洋服を利用した「布ぞうり」は履き心地がよいと人気がある。就労継続支援B型事務所でもあり、障がいを持つ方たちが、販売や商品整理にかかわっている。毎月第1木曜日は全品半額のカモミール市を開催。(一部除外品あり)

4 リサイクルショップ ペチコートレーン

●逗子市逗子 5-4-26 ☎046-871-1550
●10:00~17:00 日祝祭日 あり

●扱い品: 衣類・雑貨・アクセサリーなど
●買い取り・販売●出張買い取り可

お店を開いて30年余り、逗子のリユースショップの草分けといえる店。それだけに、ふるき良き時代からの品物を土産のひとが持ち込むことが多い。ブランドものが好まれる時代になったが、選りすぐられた品物のしっかりしたものを、安価で手に入れることができる。

古本イサドとら堂

●逗子市逗子 5-3-39 ☎046-876-8606
●11:00~22:00 平日月曜日 あり

●扱い品: 古書籍 ●買い取り・販売
街の古本屋を目指す心遣い空間に、店主の選んだ本が並び、趣味関係や絵本も充実。

5 今昔きもの 佐助

●逗子市新宿 4-14-1 ☎046-872-2294
●11:00~18:00 月水金曜、毎月11日 あり

●扱い品: 新中古屋・帯・帯留・かんざし・古道具など
●買い取り・販売●出張買い取り可

狹路山の麓に静かな雰囲気であたたかみ。着物は仕立ててあれば、しつけがつかなくても、中古品となる世界。店主が吟味して選び、時にはこだわって仕立て直した着物が並び、市価の2分の1から3分の1ほどの価格で手に入る。
遠方から訪ねて来るお客様も多く、時がゆっくり流れる店内で、ゆっくりと見て楽しむと過ごすという。選ぶ相談にも気軽にのってもらえ、中古着物の面白さを知ると、はまり込んでしまいそう。

6 リサイクルショップ くるくる

●逗子市小坪 1-1262-5 ☎0467-24-8913
●10:00~18:30 水曜日 あり

●扱い品: 生活雑貨・家具・家電など●買い取り・販売

名越トンネルのそばにある店舗の中は、天井まで商品がぎっしり。毎日違う商品が入荷してきて、家具などの大物が多くの特長。昭和レトロなソファや骨董品の陶器などが混然として同居。店内を歩くと、探していたものが見つかるだけでなく、身近な鍋蓋、あると便利な家電製品など、これが欲しかったと思えるものが並んでいる。
この店は、一度足を踏み入れると時が経つのを忘れる空間でもあり、毎日通う常連客も多いという。不要品の出張買い取りや大物の配達をしてもらえるのも便利。駐車スペースが少ないので多量の場合は相談を。

お持ちになっている物に合わせた着物など、ご提案させていただきます。良いものを大事に使っていただきたいと思います。店主・佐助さん

REUSE 逗子市民まつりでは TABLEWEAR リユース食器が大活躍

昨年10月に行なわれた逗子市民まつりは38回目を迎え、毎年来場者6万人を超える一大イベント。ゴミは来場者がすべて持ち帰り。
飲食ブースでの使い捨てプラスチック容器を減らすために、昨年は約1,700枚のリユース食器が利用されました。飲食ブースでリユース食器のデモセット(保証金)100円を含んだ料金を支払い、食器を返却すると100円が戻ってくる仕組み。使用済みの食器はまとめて容器貸出業者に返却し、そこで洗浄して再利用される。来年はもっと利用店舗が増えるといいですね。

4) 効果測定について（今後の予定）

- ・リユースに関する実績整理（第3回）
- ・来場者アンケートの結果整理
- ・「出張エコ広場」の改善点、次年度以降の計画の検討 / など

2.3 愛知県武豊町

(1) 実施するリユースモデル事業の概要

1) プランの概要

平成 23 年より住民から集めたリユース品を会場に展示、参加者が持ち帰るイベント「武豊リユースパーク」を実施しているが、その仕組みを踏襲して常設のリユース施設「武豊リユースステーション」の開設を町内事業者と連携しながら検討する。

「武豊リユースステーション」は資源回収拠点である「たけとよエコステーション」に併設する形で平成 27 年 1 月 6 日（火）に開設した。

① 対象品目

町民の方から提供いただくリユース品は、「キッチン用品」、「日用雑貨品」、「育児関係」、「衣料品関係」、「本・CD・DVD・ゲーム」とし、町が指定する処理困難物、家電リサイクル法対象品目（冷蔵庫・冷凍庫、テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン）等は対象外とした。

一定期間、引き取り手が現れなかったリユース品については、資源物として処理可能なものはエコステーションで引き取る。資源物として処理できないものについては、武豊町にて適正処理を行う。

「武豊リユースステーション」で対象としたリユース品

品目	受付できない品目
キッチン用品	・汚れ、破損のひどい品物 ・部品が欠品しており、機能に支障があるもの ・町の指定で処分する“処理困難物”として扱われるもの ・家電リサイクル法の対象製品 ・危険物、動植物、飲食物、化粧品、医薬品、その他法律上販売が禁止されているもの ・無線機など、使用の際に専門の知識を要するもの ・個人情報漏えいする恐れのあるパソコンの周辺機器
日用雑貨品	
育児関係	
衣料品関係	
本・CD・DVD・ゲーム	

② 取組の概要

リユースステーション開設に向けて、エコステーションの運営事業者である株式会社エイゼンと協議して、リユースステーションの運営方法の検討を行った。11 月に広報用ちらし・ポスターを作成し、町内の施設へ配布するとともに、イベントなどで取組の紹介を行った。

リユース品の提供は、エコステーションが営業している月～土曜日の 9：00～15：00 に受け付けている。リユース品を持ち込んだ町民は施設内のリユースボックスにリユース品を入れ、係員からリユース交換券を受け取る。

リユース品の交換は、火・水・木の 13：00～15：00 に受け付けている。施設内に展示されているリユース品の中に受け取りを希望するリユース品があれば、リユース交換券と引き換えにリユース品を持ち帰る。

提供されたリユース品の品目別の重量や交換されたリユース品の品目別の重量、リユース品提供者数、交換者数などの記録を行う。

③ 役割分担

武豊町は「リユースステーション」の責任者として、開設に向けた企画・準備・状況確認・効果測定等を行う。エコステーションの運営事業者でもある株式会社エイゼンは、運営準備、リユース品の受付・提供、リユース品の整理・展示、重量等の測定、アンケートの実施等を行う。

環境省 リユースモデル事業

再資源から再利用、暮らしがもっとエコになる。

武豊リユースステーション

Taketo reuse station



場所
たけとよエコステーション施設内

交換日時
毎週火・水・木曜日 13:00~15:00

武豊リユースステーションでごみ量の削減
町民のみなさんから「まだ使えるもの」を集めて、別の人に品物を再利用してもらうよう促す施設です。品物の再利用をするリユースは、リサイクルよりも環境負荷が低いため、今後の普及が望まれています。ご利用の流れは、裏面をご確認ください

「リユース」の次は「リサイクル」
資源物の「分別」にもご協力ください

町内に資源回収施設「エコステーション」は2ヶ所
みなさんご家庭から排出された資源物は、新たな製品にリサイクルするための材料として売買されています。資源物の売り買いによって武豊町の歳入となった代金は、ごみ処理行政の運営費に使用されています。

営業日時
月曜日~土曜日
9:00~15:00
エコステーションの場所については、裏面の地図をご覧ください



「武豊リユースステーション」及び「エコステーション」についてのお問い合わせは、
株式会社エイゼン ☎72-3764 または、武豊町役場環境課 ☎72-1111まで

武豊リユースステーションご利用の流れ

1 リユース品を持ち込む

2 施設内のリユースボックスに入れる

3 係員に声をかけてリユース品交換券を受け取り完了!

リユース品の提供
(月~土曜日 9:00~15:00)

1 リユース品交換券を持って来場

2 気に入ったリユース品を選び交換用紙を記入して係員に提出し、交換券に受付印を押してもらう

3 リユース品を持ち帰り完了!

リユース品の交換
(火~木曜日 13:00~15:00)

取り扱うリユース品について

受付できる品目

- ◆キッチン用品
- ◆日用雑貨品
- ◆育児関係
- ◆衣料品関係
- ◆本・CD・DVD・ゲーム

受付できない品目

- ・汚れ、破損のひどい品物
- ・部品が欠品しており、機能に支障があるもの
- ・町の指定で処分する際に「処理困難物」として扱われるもの
- ・家電リサイクル法の対象商品
(テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機)
- ・危険物、動植物、飲食物、化粧品、医薬品、その他法律上販売が禁止されているもの
- ・無線機など、使用の際に専門の知識を要するもの
- ・個人情報情報が漏えいする恐れのあるパソコンの周辺機器

たけとよエコステーション
エコステーションの施設内でリユース品の「受付」「交換」をすることができます。



ご利用にあたっての注意事項

- ・施設内には、十分な駐車スペースがありません。他の利用者の方へのご配慮をお願いします。
- ・併設のたけとよステーションは、月~土曜日の営業ですが、リユース品の「交換」は、毎週火・水・木曜日のみとさせていただきます。リユース品の提供は、エコステーションの営業時であればいつでも可能です。
- ・本事業は試行事業のため、内容が変更となる場合があります。予めご了承下さい。

おおあしエコステーション
こちらのエコステーションでもリユース品の「受付」をしています。



武豊町内のリユースショップ案内

ゲオ武豊口田店さんでもリユース品の取り扱いをしています。

●取扱い品目●
本・CD・DVD・ゲームソフト
ゲーム機本体・トレカ・携帯電話/スマホ
武豊町字口田11-1 ☎72-0614

2) 広報・PRの方法

ちらし・ポスターの町内施設への配布、広報及びホームページへの記事の掲載、ごみに関する問い合わせの際の紹介などを実施した。

(2) モデル事業の利用状況・効果について（中間報告）

※詳細については、第17回研究会において武豊町より紹介いただく予定。

1) モデル事業の利用状況について（中間報告）

武豊リユースステーションの1月の提供重量、リユースされた重量、廃棄された重量は下記の通りである。日用雑貨品やキッチン用品のリユースされた重量が多くなっている。

利用者数も提供者が20～40名程度、交換者が10～20名程度と順調に推移している。

武豊リユースステーションの利用状況実績（1月分、単位：kg）

	キッチン用品	日用雑貨品	育児関係	衣料品関係	本	合計
リユース品提供重量	90.5 (20.3)	157.0 (30.9)	26.1 (0.9)	109.5 (41.0)	145.7 (50.0)	528.8 (143.1)
リユースされた重量	30.1	97.5	1.5	8.7	0.4	138.0
廃棄重量	8.4	3.6	0	44.4	2.3	58.7

※（）内は武豊リユースパークの残品及び事前の提供品の重量

武豊リユースステーションの利用人数（1月分）

	提供者数	交換者数
第1週目	37	12
第2週目	29	9
第3週目	38	18
第4週目	22	14
合計	126	53

2) 効果測定について（今後の予定）

- ・リユースに関する実績整理
- ・来場者アンケートの結果整理
- ・「リユースステーション」の改善点、次年度以降の計画の検討　／など

